

取扱説明書

RadiForce® RX250 RX250-AR

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および設定マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

- モニターの設定/調整については、設定マニュアルを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>

ユーザー登録のお願い

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、
ユーザー登録をお願いいたします。









登録方法：当社のWebサイトからオンライン登録
次のアドレスにアクセスし、ご登録ください。

<http://www.eizo.co.jp/registration/>



絵表示について

本書では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
	「アース線を接続すること」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

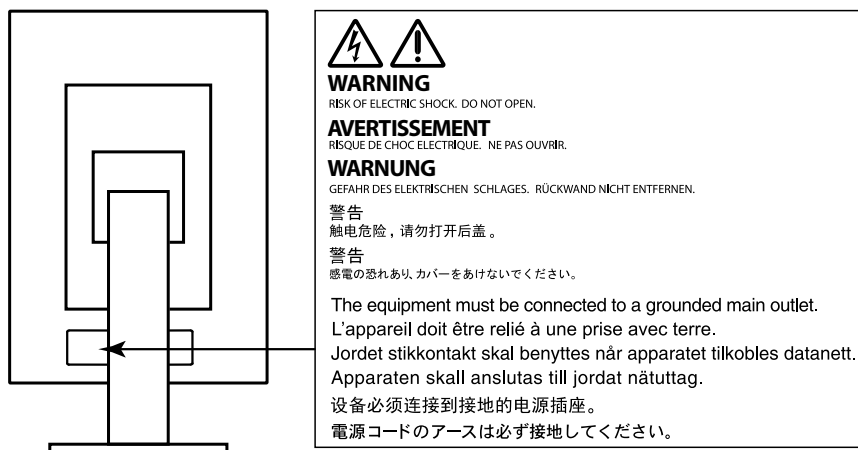
1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

警告表示位置



本体に使われている記号について

記号	意味
○	主電源スイッチ：この製品の主電源をオフにします。
⏻	主電源スイッチ：この製品の主電源をオンにします。
⏻	電源スイッチ：この製品の電源をオンまたはオフにします。
～	交流
⚡	危険警告・感電
⚠	注意：「絵表示について」(P.2) 参照

警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡するそのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

この製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

この製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、この製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- ・屋外。車両・船舶などへの搭載
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・水滴のかかる場所。浴室、水場など
- ・油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く
- ・直射日光が直接製品に当たる場所
- ・可燃性ガスのある環境
- ・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境
- ・ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



付属の電源コードを使用し、100VAC電源に接続して使用する

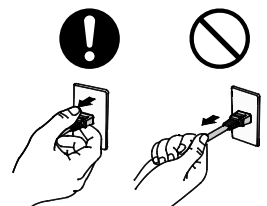
付属の電源コードは日本国内100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

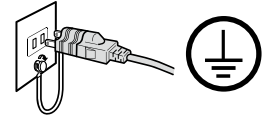


警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

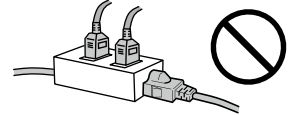
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- ・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
- ・タコ足配線



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



電気的な安全確保のため、接続コードの取り付け・取り外しは、患者がいない場所でおこなう



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。設置する前に、アームやスタンドを固定する机や壁などに十分な強度があるか確認してください。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のねじを使用し、確実に固定してください。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



ごみ廃棄場で処分されるごみの中にこの製品を捨てない

蛍光管バックライトには水銀が含まれているため（LED バックライトを使用した製品は水銀を含有していません）、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。

水銀は、体の震え、記憶喪失、頭痛など、神経系の障害を引き起こす恐れがあります。



注意

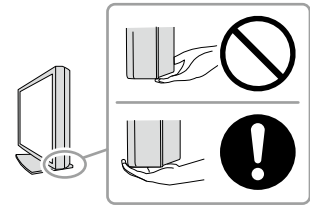
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



この製品を移動させるときは、正しい方法で移動する

・この製品を移動するときは、右図のように画面の下部をしっかりと持つ。
・30インチ以上のモニターの場合、開梱や持ち運びは必ず2人以上でおこなう。
落としたりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- ・通風孔の上や周囲にものを置かない。
- ・風通しの悪い、狭いところに置かない。
- ・横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるような位置（コンセントの近く）に機器を配置するようにしてください。



電源プラグ周辺、モニターの通風孔は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源コンセントから電源プラグも抜く



この装置は患者の周囲に設置できますが、患者との接触には適していません

モニターについて

使用用途

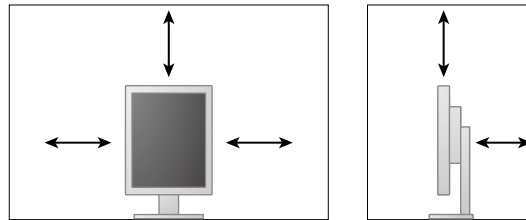
この製品は、MRIやCT、PETなどの医用画像表示用途に適しています。

注意点

- 本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。
- 本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。
- この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

設置条件

- 「使用上の注意」(P.3)をよく読み、必ずお守りください。
- モニターをラックに設置する場合など、周囲(側面、背面、上方)に十分な空間を確保してください。



- 照明の光が画面に映り込まないようにモニターを配置してください。
- ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

メンテナンス

- モニターの表示品質は、入力信号の品位や製品の劣化により変化します。用途に応じた医用規格/ガイドラインに従って、日常点検や定期的な不変性試験を実施することをお勧めします。モニター品質管理ソフトウェアRadiCSを使うと、医療規格/ガイドラインに対応した高度な品質管理をトータルに実施することができます。
- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約15分かかりますので、モニターの調整は電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して15分以上経過してからおこなってください。
- 経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げで使用されることをお勧めします。不変性試験を定期的実施し、必要に応じてキャリブレーションを実行してください。詳細は、モニター品質管理ソフトウェアRadiCS/RadiCS LEの取扱説明書を参照してください。
- Integrated Front Sensorの測定精度を維持するためには、定期的RadiCS/RadiCS LEを使用してコレレーションを実行してください。
- 経年使用により、部品(液晶パネルなど)が劣化することがあります。正常に動作することを定期的に確認してください。
- 同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
- 表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。
- 液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

- ・画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。
- ・パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押し跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）
- ・パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。
- ・この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。

注意点

- ・薬品は頻繁に使用しないでください。アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- ・モニターに薬品を直接付着させないでください。

参考

- ・キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水または次の薬剤をしめらせて、やさしくふき取ってください。

使用可能な薬剤

薬剤の種類	薬剤の商品名
消毒用エタノール	エチルアルコール（エタノール）
イソプロピルアルコール	イソプロピルアルコール
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン液
次亜塩素酸ナトリウム	ピューラックス
塩化ベンザルコニウム	ウェルパス
アルキルジアミノエチルグリシン	テゴ-51
グルタラル	ステリハイド
グルタラル	サイデックスプラス28

モニターを快適にご使用いただくために

- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。
- ・画面は、適切な距離および角度でご覧ください。

目次

使用上の注意	3	その他規格	27
重要	3	EMC情報	28
モニターについて	7	アフターサービス	32
目次	9		
第1章 はじめに	10		
1-1. 特長	10		
1-2. 梱包品の確認	11		
1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて ...	11		
● ディスクの内容と概要	11		
● RadiCS LEを使用するときは	11		
1-4. 各部の名称と機能	12		
1-5. 対応解像度	13		
第2章 接続	14		
2-1. 接続する	14		
2-2. USB (Universal Serial Bus) の活用について ...	16		
● 必要なシステム環境	16		
● 接続方法 (USB機能のセットアップ方法) ...	17		
第3章 設置	18		
3-1. 高さ、角度を調整する	18		
3-2. アーム取付方法	19		
第4章 画面が表示されない場合には	20		
第5章 仕様	21		
5-1. 仕様一覧	21		
5-2. 主な初期設定値	22		
5-3. 外観寸法	23		
5-4. オプション品	23		
第6章 用語集	24		
付録	26		
商標	26		
ライセンス/著作権	27		
VCCI	27		
医療規格	27		

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 21.3型
- 解像度2Mピクセル（縦表示1200×1600ドット（H×V））対応
- 高コントラスト比（1400：1）のパネルを採用
メリハリのある画像表示を実現します。
- DisplayPort対応（8bitまたは10bitに対応、音声は非対応）
- 複数のモニター間をDisplayPortケーブルで接続できるデジチェーン機能を搭載
DisplayPort 1.2に対応したグラフィックボードが必要です。詳細は、当社のWebサイトを参照してください。
<http://www.eizo.co.jp>
- 最適なキャリブレーションモードを選択できるCAL Switch（キャルスイッチ）機能搭載
設定マニュアル（CD-ROM内）参照
- DICOM（P.24）Part 14に準拠した画面選択が可能
- キャリブレーション、履歴の管理が可能な品質管理ソフトウェア「RadiCS LE」を添付
「1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて」（P.11）参照
- 省電力機能
この製品は省電力のための機能を搭載しています。
 - 主電源オフ時消費電力0W
主電源スイッチを装備しています。
モニターを使用しない時は、主電源を切ることで電力が消費されなくなります。
 - 人感センサー機能
モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、自動的に省電力モードに移行して画面を非表示にするため、消費電力の低減につながります。
設定マニュアル（CD-ROM内）参照
- 薄型、軽量のデザイン
- 長寿命なLEDバックライト液晶パネル搭載
- 照度センサー内蔵
環境によっては、照度計と異なる測定値を示す場合があります。
センサーは、品質管理ソフトウェア「RadiCS/RadiCS LE」で使用します。測定は、ユーザーがメニューを操作することで実行できます。
測定値や測定方法の詳細は、RadiCS/RadiCS LE取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

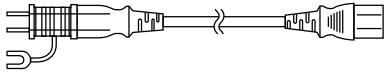
1-2. 梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店または別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

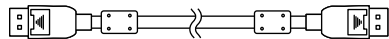
参考

- ・ 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

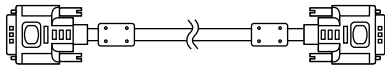
- ・ モニター本体
- ・ 電源コード（二芯アダプタ）



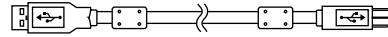
- ・ デジタル信号ケーブル：PP300
DisplayPort - DisplayPort



- ・ デジタル信号ケーブル：DD300
DVI-DVI (Single Link)



- ・ USBケーブル：UU300



- ・ EIZO LCDユーティリティディスク（CD-ROM）
- ・ 取扱説明書（保証書付き）
- ・ 出荷試験報告書
- ・ お客様ご相談窓口のご案内

1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、品質管理ソフトウェアや取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

内容	概要
Readmeja.txtファイル	
RadiCS LE (Windows用)	キャリブレーションをおこない、履歴管理が可能な品質管理ソフトウェアです。
モニターの取扱説明書 (PDFファイル)	
モニターの設定マニュアル (PDFファイル)	

● RadiCS LEを使用するときは

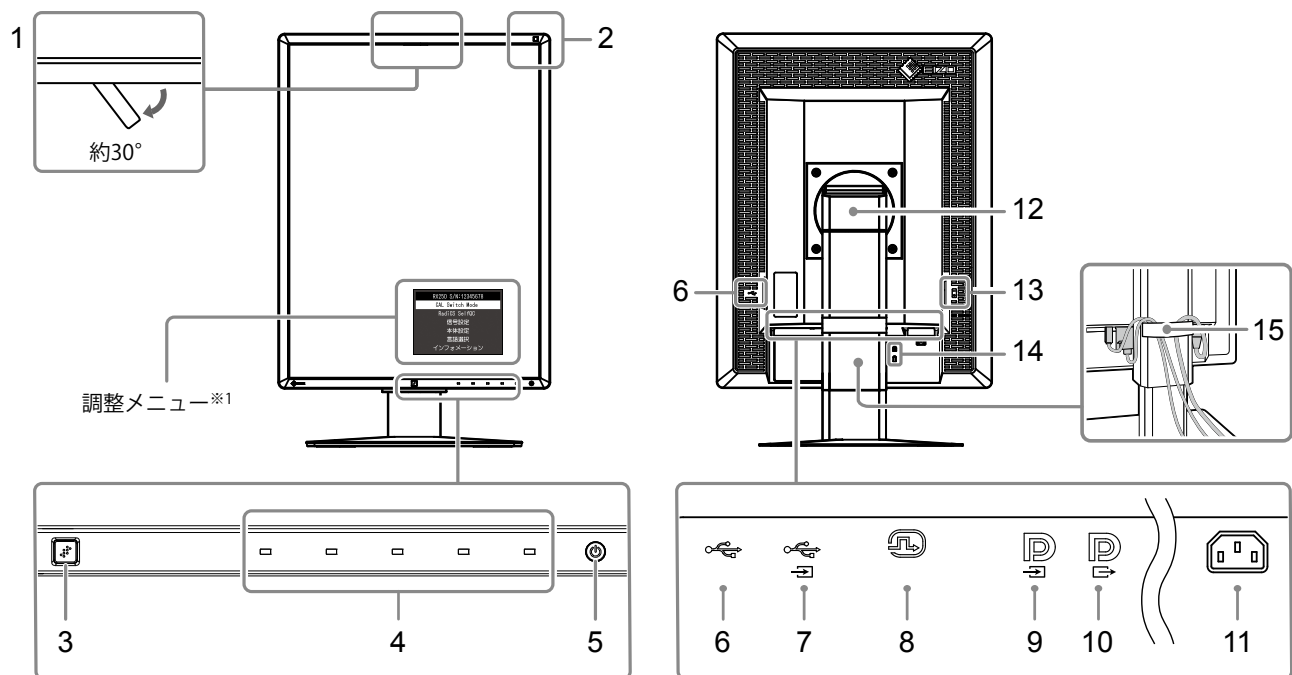
RadiCS LEのインストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。

ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属のUSBケーブルで接続してください（「2-2. USB (Universal Serial Bus) の活用について」（P.16）参照）。

参考

- ・ DDC通信を使用すると、USBケーブルを接続せずにRadiCS LEが使用できます。DDC通信の設定方法は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。

1-4. 各部の名称と機能



1. Integrated Front Sensor (可動式)	キャリブレーションや階調チェックに使用します。
2. 照度センサー	環境照度を測定します。
3. 人感センサー	モニター正面の人の動きを検知します。
4. 操作スイッチ	メニューを表示します。ガイドに従って操作します。
5. 電源スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> 電源のオン/オフを切り替えます。 モニターの動作状態を表します。 緑：画面表示、橙：省電力モード、消灯：主電源/電源オフ
6. USBダウンストリームポート	USBに対応している周辺機器と接続できます。
7. USBアップストリームポート	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します。
8. DVI-Dコネクタ	コンピュータと接続します。
9. DisplayPort入力コネクタ	コンピュータと接続します。デージーチェーン接続をする場合、上流モニターの出力コネクタと接続します。
10. DisplayPort出力コネクタ	デージーチェーン接続する場合、下流モニターの入力コネクタと接続します。
11. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
12. スタンド	高さや角度が調整できます。
13. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。(○：オフ、 ：オン)
14. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
15. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※1 使用方法は設定マニュアル (CD-ROM内) を参照してください。

1-5. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

○：対応

解像度	垂直走査 周波数	DisplayPort ^{※1}		DVI	
		縦表示	横表示	縦表示	横表示
720×400	70 Hz	○	○	○	○
640×480	60 Hz	○	○	○	○
800×600	60 Hz	○	○	○	○
1024×768	60 Hz	○	○	○	○
1280×1024	60 Hz	—	○	—	○
1200×1600	60 Hz	○	—	○	—
1600×1200	60 Hz	—	○	—	○

※1 10bit表示にも対応しています。

第2章 接続

2-1. 接続する

注意点

- ・コンピュータ、周辺機器の電源は切った状態で接続してください。
- ・今まで使用していたモニターをこの製品に置き換える場合、コンピュータと接続する前に「1-5. 対応解像度」(P.13)を参照し、コンピュータの設定を、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数に変更してください。

1. モニター画面を時計回りに90°回転させます。

梱包状態では、モニターの画面は横置きになっています。

注意点

- ・モニター画面を回転させる場合は、画面を最も高い位置まで上げてから回転させてください。

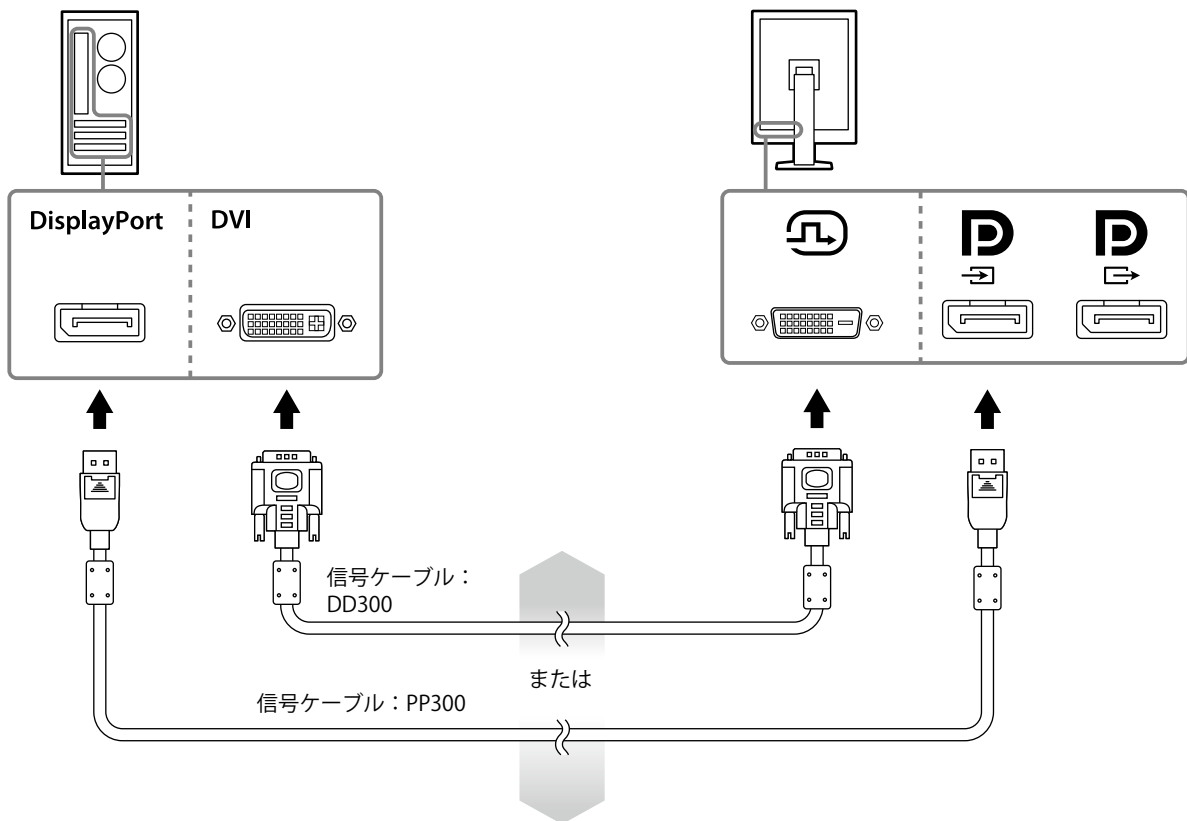
2. 信号ケーブルを接続します。

コネクタの形状を確認して、ケーブルを接続してください。DVIケーブルを接続する場合は、固定ねじを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

1台のコンピュータに接続する場合

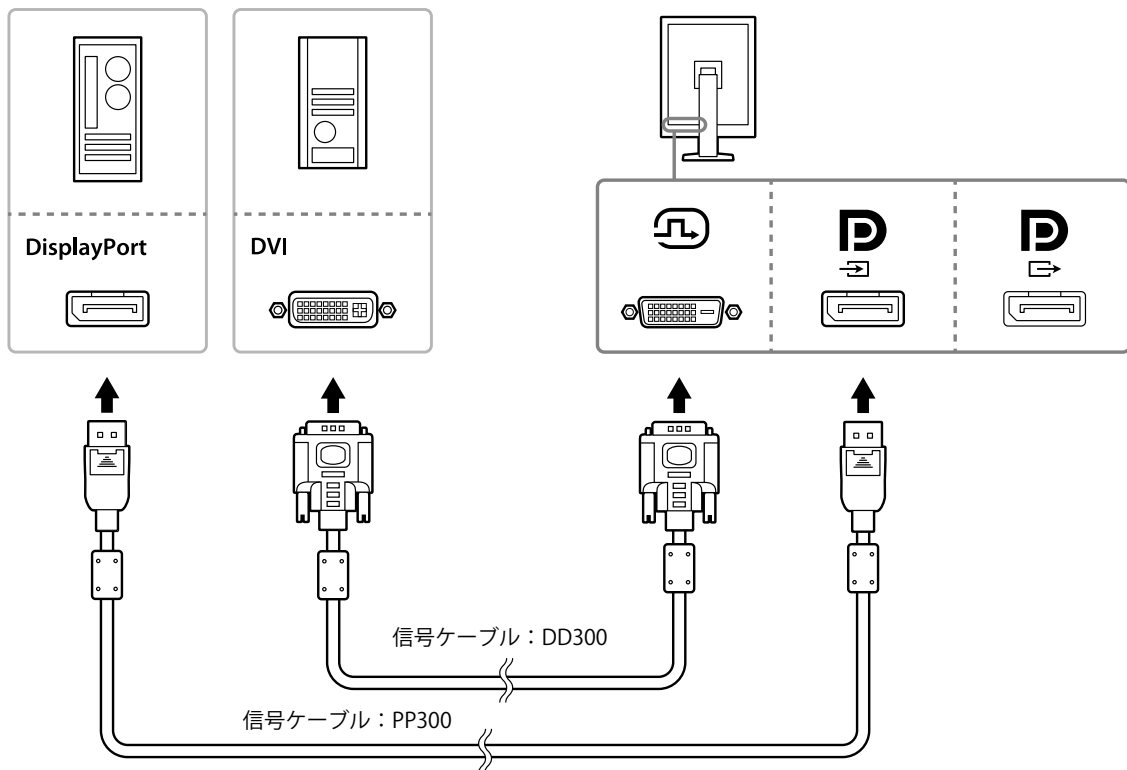
注意点

- ・モニターのDisplayPortコネクタには入力  と出力  があります。モニターとコンピュータを接続する場合は、入力コネクタ  に接続してください。




複数のコンピュータに接続する場合

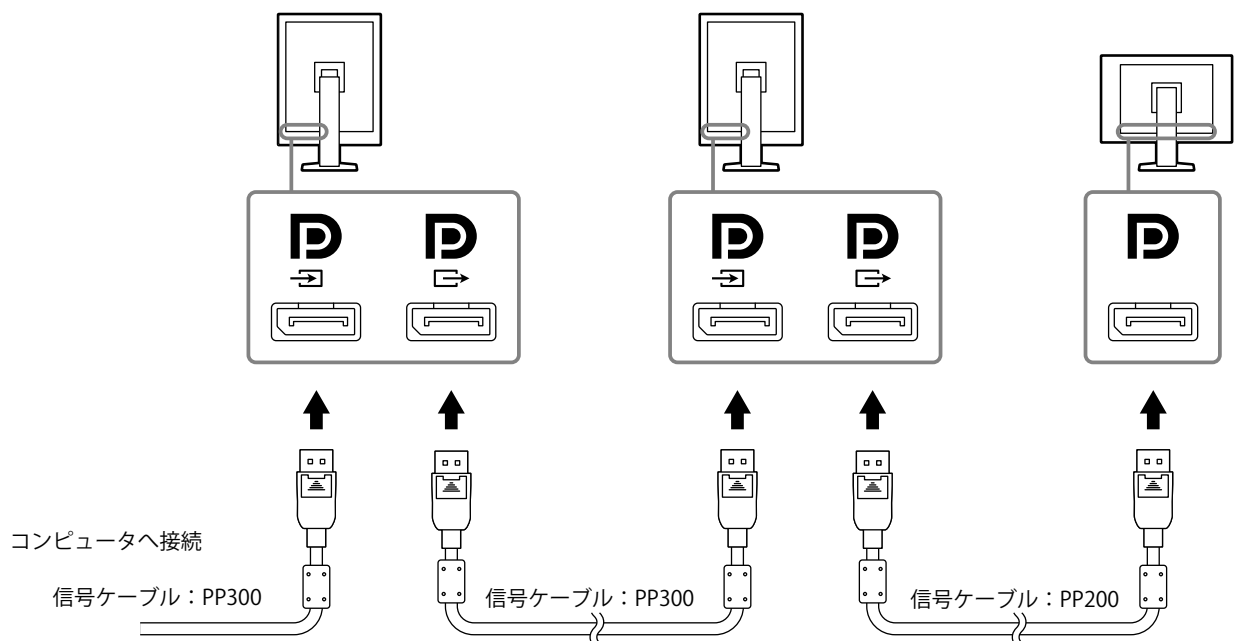
入力信号の切り替えについては、設定マニュアル（CD-ROM）を参照してください。



複数のモニターをデジチェーン接続する場合

注意点

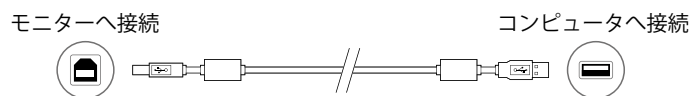
- デジチェーン接続が可能なモニターとグラフィックスボードは、当社のWebサイトでご確認ください。
<http://www.eizo.co.jp>
- 信号ケーブルを接続する前に  のキャップを外してください。



3. 付属の電源コードをモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

4. RadiCS LEを使用する場合は、USBケーブルを接続します。

USBアップストリームポートへの接続については、「2-2. USB (Universal Serial Bus) の活用について」(P.16)を参照してください。



参考

- DDC通信を使用すると、USBケーブルを接続せずにRadiCS LEが使用できます。DDC通信の設定方法は、設定マニュアル (CD-ROM内) を参照してください。

5. ①に触れて、モニターの電源を入れます。

モニターの電源ランプが緑色に点灯します。

6. コンピュータの電源を入れます。

画面が表示されます。

電源を入れても画面が表示されない場合には、「第4章 画面が表示されない場合には」(P.20)を参照してください。

注意点

- 完全な省電力のためにはモニターの電源を切ることをお勧めします。モニターを使用しない時は、主電源を切るか、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。

参考

- モニターを長くお使いいただくため、また、輝度劣化および消費電力抑制のために次のことをおこなってください。
 - コンピュータのパワーセーブ機能を使用する。
 - 使用後は、モニターの電源を切る。

2-2. USB (Universal Serial Bus) の活用について

この製品はUSB規格に対応しているハブを搭載しています。USB対応のコンピュータまたは他のUSBハブに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

● 必要なシステム環境

- USBポートを搭載したコンピュータ、あるいはUSB対応のコンピュータに接続している他のUSBハブ
- Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XPまたはMac OS X 10.2以降
- USBケーブル

注意点

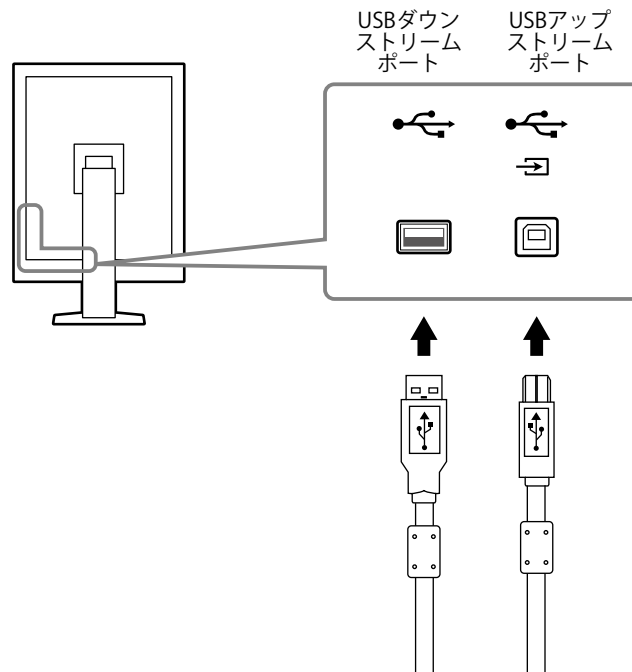
- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源スイッチのみで電源が切れている場合でも、USBダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法 (USB機能のセットアップ方法)

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB対応のコンピュータ (あるいは他のUSBハブ) のUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。

USBケーブルの接続により自動的にUSBのハブ機能がセットアップされます。

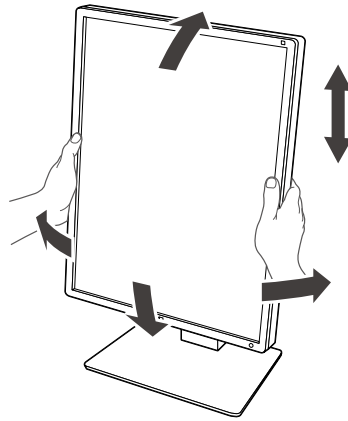
3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。



第3章 設置

3-1. 高さ、角度を調整する

モニターの左右を両手で持ち、画面の高さや上下左右の角度を作業に適した状態になるように調整します。



注意点

- 調整後、ケーブル類が正しく接続されていることを確認し、ケーブル類をケーブルホルダーに収納してください。
-

3-2. アーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。 <http://www.eizo.co.jp>

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
 - アームまたはスタンドのVESAマウント部外形寸法：122mm×122mm以下
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
 - 本体部分とスタンドを固定しているねじ
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上45°下45°（縦表示時、および反時計回り90°に横表示時）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因となります。
- 定期的なねじの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニターが外れ、けがや故障の原因となります。

取付方法

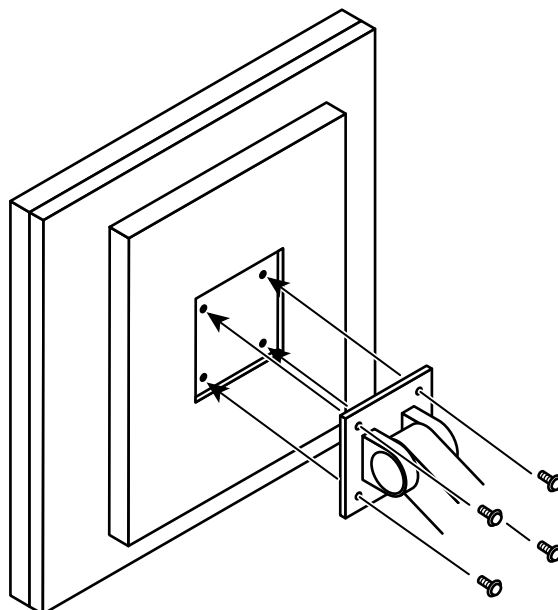
1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

手順2で取り外したねじを使用して、アーム（またはスタンド）を取り付けます。



第4章 画面が表示されない場合には

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 主電源を入れてください。 ⏻に触れてください。 主電源を切り、再度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：緑色 	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「ブライツネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。 主電源を切り、再度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号を切り替えてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。 人感センサーを「オン」に設定している場合、省電力モードに移行している可能性があります。モニターに近づいてみてください。 DisplayPort信号を入力する場合、信号ケーブルが  に接続されていますか。  は、デイジーチェーン接続時の出力に使用します。 主電源を切り、再度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点滅：橙色、緑色 	<ul style="list-style-type: none"> 当社指定の信号ケーブルで接続してください。その後、主電源を切り、再度電源を入れてみてください。 DisplayPortに接続している場合は、DisplayPortのバージョンを1.1に切り換えてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
2. 次のようなメッセージが表示される	<p>この表示はモニターが正常に機能しているも、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない場合の表示です。 例： <div data-bbox="268 1227 643 1361" data-label="Image"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。 DisplayPortに接続している場合は、DisplayPortのバージョンを1.1に切り換えてみてください。 DisplayPort信号を入力する場合、信号ケーブルが  に接続されていますか。  は、デイジーチェーン接続時の出力に使用します。 主電源を切り、再度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例： <div data-bbox="268 1653 643 1787" data-label="Image"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「1-5. 対応解像度」（P.13）参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

第5章 仕様

5-1. 仕様一覧

液晶パネル	種類	RX250 IPS (アンチグレア) RX250-AR IPS (アンチリフレクション)
	バックライト	LED
	サイズ	54.0cm (21.3) 型
	解像度	2Mピクセル (縦型設置時1200ドット×1600ライン (H×V))
	表示面積 (横×縦)	324.0mm×432.0mm (縦型設置時)
	画素ピッチ	0.270mm
	表示色	10 bitカラー (Single Link) : 最大10億7,374万色 8 bitカラー (DVI) : 1,677万色
	視野角 (水平/垂直、標準値)	178°/178°
	推奨輝度	400cd/m ²
	応答速度 (標準値)	20ms (黒→白→黒)
	映像信号	入力端子
出力端子		DisplayPort × 1
デジタル走査周波数 (水平/垂直)		31kHz~100kHz / 59Hz~61Hz (VGA TEXT : 69Hz~71Hz) フレーム同期モード対応 : 59Hz~61Hz
ドットクロック		25.0MHz~164.5MHz
USB	ポート	アップストリーム × 1、ダウンストリーム × 2
	規格	USB Specification Rev.2.0
電源	電源入力	AC100V±10%、50/60Hz、0.80A
	最大消費電力	79W以下
	省電力時消費電力	1.0W以下 (DVI入力時、USB機器非接続時、「入力自動検出」 : 「オフ」時、「Power Save」 : 「高」時、「DDC」 : 「オフ」時、「DC5V Output」 : 「オフ」時、「DP Power Save」 : 「オン」時、「Displayportバージョン」 : 「1.1」時、外部負荷非接続時)
	待機時消費電力	1.0W以下 (USB機器非接続時、「DP Power Save」 : 「オン」時、「DC5V Output」 : 「オフ」時、「Display Port Version」 : 「1.1」時、「DDC」 : 「オフ」時、外部負荷非接続時)
機構	外観寸法	361.0mm×510.5mm~600.5mm×267.0mm (幅×高さ×奥行) (チルト角度30° 時)
	外観寸法 (モニター部)	361mm×465mm×78mm (幅×高さ×奥行)
	質量	約8.2kg
	質量 (モニター部)	約5.4kg
	昇降	90mm (チルト角度0°時)
	チルト	上30°、下5°
	スウィーベル	70°
	ローテーション	90° (縦型設置時反時計回り)
動作環境条件	温度	0°C~35°C
	湿度	20%~80% (R.H.,結露なきこと)
	気圧	540hPa~1060hPa
輸送/保存環境条件	温度	-20°C~60°C
	湿度	10%~90% (R.H.,結露なきこと)
	気圧	200hPa~1060hPa

5-2. 主な初期設定値

CAL Switch Mode：工場出荷時の表示設定はDICOMモードです。

モード	輝度	色温度	ガンマ値	Hybrid Gamma PXL
1-DICOM	400cd/m ²	7500K	DICOM	オフ
2-CAL1	400cd/m ²	7500K	2.2	オフ
3-CAL2	300cd/m ²	7500K	DICOM	オフ
4-Custom	約300cd/m ²	7500K	2.2	- (無効)
5-sRGB	約250cd/m ²	sRGB	sRGB	- (無効)
6-Text	約100cd/m ²	6500K	2.2	- (無効)

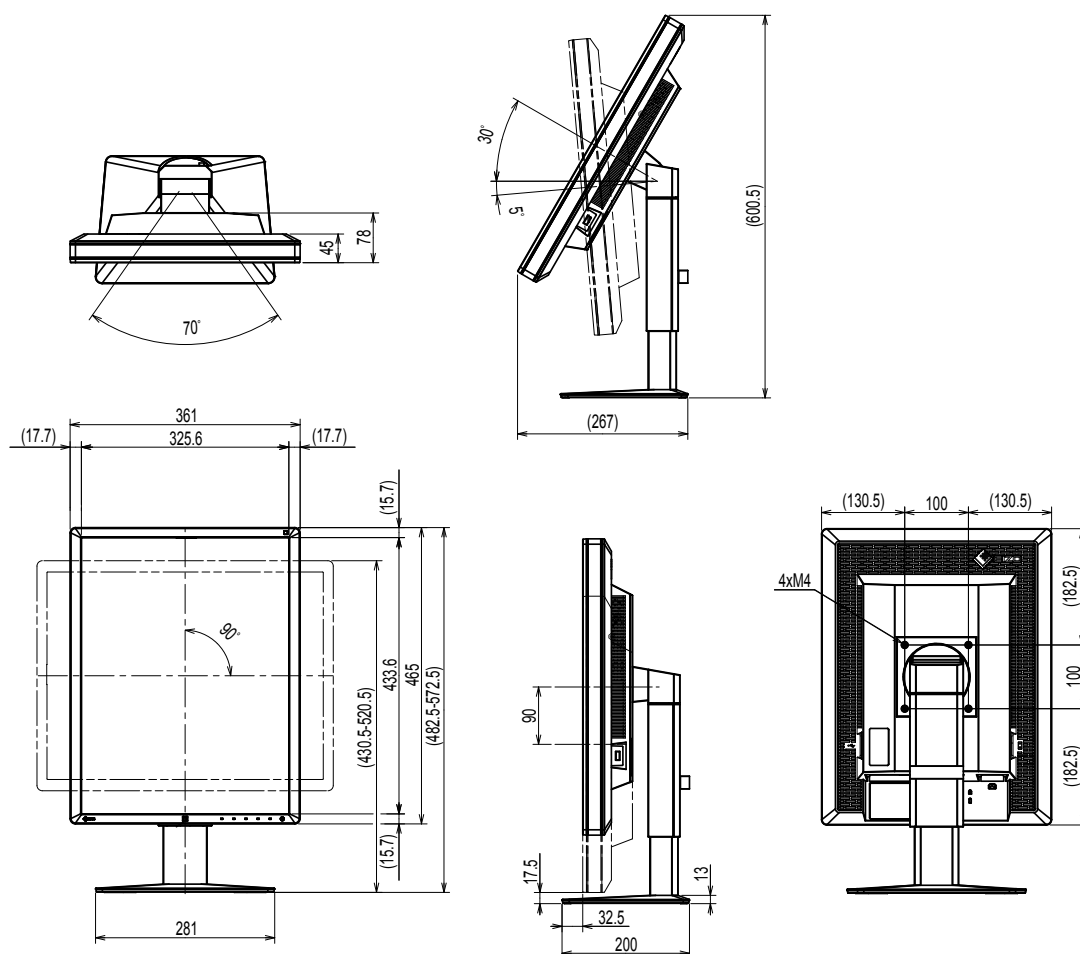
その他

画面拡大	等倍
入力自動検出	オフ
パワーセーブ	高
ランプ輝度	4
人感センサー	オフ
言語選択	日本語
起動ロゴ ^{※1}	オフ
画像回転 ^{※1}	縦置き
DDC ^{※1}	自動
DC5V Output ^{※1}	オフ
DP Power Save ^{※1}	オフ
階調表示警告 ^{※1}	オン
Sharpness Recovery ^{※1}	オン
DisplayPort バージョン ^{※1}	1.2

※1 「オールリセット」（設定マニュアル（CD-ROM内）参照）を実行しても初期設定値には戻りません。

5-3. 外観寸法

単位：mm



5-4. オプション品

キャリブレーションキット	EIZO 「RadiCS UX1」 Ver.4.4.2以降 EIZO 「RadiCS Version Up Kit」 Ver.4.4.2以降
ネットワーク品質管理ソフトウェア	EIZO 「RadiNET Pro」 Ver.4.4.2以降 EIZO 「RadiNET Pro Lite」 Ver.4.4.2以降
クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」
液晶保護パネル	EIZO 「RP-915」

オプション品に関する最新情報および最新の対応グラフィックスボード情報は、当社のWebサイトを参照してください。

<http://www.eizo.co.jp>

第6章 用語集

DDC (Display Data Channel)

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine)

米国放射線学会 (American College of Radiology) と北米電子機器工業会 (National Electric Manufacturers Association) が開発した医用画像と通信の標準規格です。DICOMに準拠した機器を相互接続することにより、画像検査情報や画像データの伝送が可能になります。DICOM Part 14はDICOM規格の中でデジタル医用画像の視覚的解釈を統一し、グレースケールイメージの表示について規格化したものです。

DisplayPort

VESAによって標準化された映像信号のインターフェース規格です。従来のDVIやアナログインターフェースを置き換える目的で開発され、DVIでは対応していない高解像度の信号や、音声信号を伝送することができます。標準サイズとMiniサイズのコネクタが規格化されています。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン (オペレーションモード) とアクティブオフ (省電力モード) が必須となっています。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間 (モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど) の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K: Kelvin (ケルビン) で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかった白色

6500K: 昼光色と呼ばれる白色

9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1200個、縦1600個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1200×1600 (縦型設置時) の解像度であれば、画像は画面全体 (1対1) に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が増加していききます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

デジチェーン接続

コンピュータに複数のモニターを数珠繋ぎに接続する方法です。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。

ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

Linux はLinus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。

PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

Red HatはRed Hat, Inc.の登録商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。

FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス/著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

医療規格

この製品を用いる装置を設計、使用する場合は、IEC60601-1-1の規格要求に従ってください。

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

EMC情報

RadiForceシリーズは、画像を適正に表示する性能を有しています。

意図した使用環境

この製品は医院・病院などの専門的ヘルスケア施設内での使用を意図しています。次のような環境での使用は意図していません。

- ・ ホームヘルスケア環境
- ・ 電気メスなどの高周波手術機器の近傍
- ・ 短波治療機器の近傍
- ・ MRI用RF遮蔽室内
- ・ 遮蔽された場所の特殊環境内
- ・ 救急車両を含む車載
- ・ その他特殊環境

警告

RadiForceシリーズは、EMC（電磁両立性）に関する特別な安全上の注意を必要とします。EMC情報および本書内の「使用上の注意」をよくお読みになり、以下の指示に従って、設置、操作する必要があります。

RadiForceシリーズは、他の機器に隣接した設置や積み重ねた状態で使用をしないでください。やむを得ずその状態で使用する場合は、RadiForceシリーズおよびシステムが実際に使用される構成で正常に動作することを確認してください。

携帯型RF通信機器は、ケーブルを含むRadiForceシリーズのいかなる部分に対しても、30cm以上離して使用してください。RadiForceシリーズに影響を与える恐れがあります。

信号入力部または出力部に追加装置を接続し、医療システムで使用する場合は、必ずIEC/EN60601-1-2の要件に準拠してください。

ケーブルは、必ず付属品または当社の指定するケーブルを使用してください。

指定以外のケーブルを使用した場合、電磁妨害波の増加、電磁妨害に対する耐性低下の恐れがあります。

ケーブル	EIZO指定ケーブル	最大ケーブル長	シールド	フェライトコア
信号ケーブル (DisplayPort)	PP300 / PP200	3 m	シールドあり	フェライトコアあり
信号ケーブル (DVI-D)	DD300 / FD-C39	3 m	シールドあり	フェライトコアあり
USBケーブル	UU300 / MD-C93	3 m	シールドあり	フェライトコアあり
電源ケーブル (アース付き)	-	3 m	シールドなし	フェライトコアなし

技術的説明

電磁エミッション

RadiForceシリーズは、次に規定する電磁環境内での使用を意図している。

RadiForceシリーズの顧客または使用者は、次の環境でRadiForceシリーズが使用されていることを確認すること。

エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RFエミッション CISPR11/EN55011	グループ1	RadiForceシリーズは、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。したがって、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RFエミッション CISPR11/EN55011	クラスB	RadiForceシリーズは、住居環境および住居環境の建物に供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された建造物を含む、すべての施設での使用に適している。
高調波エミッション IEC/EN61000-3-2	クラスD	
電圧変動/ フリッカエミッション IEC/EN61000-3-3	適合	

電磁免疫

RadiForceシリーズは、IEC/EN60601-1-2で規定される専門的ヘルスケア施設環境での要求試験レベルに対して、次の適合レベルで試験されている。

RadiForceシリーズの顧客または使用者は、次の環境でRadiForceシリーズが使用されていることを確認すること。

免疫試験	専門的ヘルスケア施設環境の試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC/EN61000-4-2	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であること。
電氣的ファストトランジェント/バースト IEC/EN61000-4-4	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。
サージ IEC/EN61000-4-5	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。
交流電源における電圧ディップ、瞬時停電、および電圧変動 IEC/EN61000-4-11	0 %U _T (100 %U _T のディップ) 0.5サイクル、1サイクル 70 %U _T (30 %U _T のディップ) 25サイクル 0 %U _T (100 %U _T のディップ) 250サイクル間	0 %U _T (100 %U _T のディップ) 0.5サイクル、1サイクル 70 %U _T (30 %U _T のディップ) 25サイクル 0 %U _T (100 %U _T のディップ) 250サイクル	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。RadiForceシリーズの使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合は、RadiForceシリーズへの電力を無停電電源または電池から供給することを推奨する。
電力周波数磁界 IEC/EN61000-4-8	30 A/m (50/60Hz)	30 A/m	電力周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を持つこと。 電力周波数磁界の発生源とは少なくとも15cm以上離して使用すること。

電磁イミュニティ

RadiForceシリーズは、IEC/EN60601-1-2で規定される専門的ヘルスケア施設環境での要求試験レベルに対して、次の適合レベルで試験されている。

RadiForceシリーズの顧客または使用者は、次の環境でRadiForceシリーズが使用されていることを確認すること。

イミュニティ試験	専門的ヘルスケア施設環境の試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
RF電磁界による伝導妨害 IEC/EN61000-4-6	3 Vrms 150kHz~80MHz 6 Vrms 150 kHz~80 MHz間のISM帯域	3 Vrms 6 Vrms	携帯型および移動型RF通信機器は、ケーブルを含むRadiForceシリーズのいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離 $d = 1.2\sqrt{P}$
放射RF電磁界 IEC/EN61000-4-3	3 V/m 80 MHz~2.7 GHz	3 V/m	$d = 1.2\sqrt{P}$ 80 MHz~800 MHz $d = 2.3\sqrt{P}$ 800 MHz~2.7 GHz ここでPは、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、dはメートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査 ^{a)} によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲 ^{b)} における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が発生する可能性がある。 
注記 1	UTは、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。		
注記 2	80 MHzおよび800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。		
注記 3	RF電磁界による伝導妨害や放射RF電磁界に関する指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。		
注記 4	150 kHz~80 MHz間のISM帯域は、6.765 MHz~6.795 MHz、13.553 MHz~13.567 MHz、26.957 MHz~27.283 MHz、および40.66 MHz~40.70 MHzである。		
a)	例えば、(携帯/コードレス) 電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送およびTV放送などの固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測することはできない。固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。RadiForceシリーズが使用される場所において測定した電界強度が、上記の適用されるRF適合性レベルを超える場合は、RadiForceシリーズが正常に動作するかを検証するために監視すること。異常動作が確認された場合は、RadiForceシリーズの再配置または再設置のような追加対策が必要になることがある。		
b)	周波数範囲150 kHz~80 MHzにわたって、電界強度は3 V/m未満であること。		

携帯型および移動型RF通信機器との間の推奨分離距離と確認された各種通信機器サービス

RadiForceシリーズは、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。RadiForceシリーズの顧客または使用者は、携帯形及び異動形RF通信機器(送信機)とRadiForceシリーズとの間の最小距離を維持することで、電磁妨害を抑制するのに役立つ。以下のRF通信機器サービスに対する近接電磁界イミュニティは確認されている。

試験周波数 (MHz)	帯域 ^{a)} (MHz)	サービス ^{a)}	変調 ^{b)}	最大電力 (W)	最小分離距離 (m)	IEC/EN60601試験レベル (V/m)	適合レベル (V/m)
385	380~390	TETRA 400	パルス変調 ^{b)} 18Hz	1.8	0.3	27	27
450	430~470	GMRS 460, FRS 460	FM ±5kHz偏差 1kHz正弦	2	0.3	28	28
710	704~787	LTE帯域13,17	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9	9
745							
780							
810	800~960	GSM800/900, TETRA 800, iDEN 820 CDMA 850, LTE帯域5	パルス変調 ^{b)} 18Hz	2	0.3	28	28
870							
930							
1720	1700~1990	GSM 1800; CDMA 1900; GMS 1900; DECT; LTE帯域1,3,4,25; UMTS	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28	28
1845							
1970							
2450	2400~2570	ブルートゥース, WLAN, 802.11 b/g/n, FIRD 2450, LTE帯域7	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28	28
5240	5100~5800	WLAN 802.11a/n	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9	9
5500							
5785							

a) サービスによっては、アップリンク周波数のみふくまれる。

b) 搬送波は、50%デューティサイクル矩形波信号を用いて変調した。

RadiForceシリーズは、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。その他の携帯型及び移動型RF通信機器(送信機)について、通信機器の最大出力に基づくRadiForceシリーズとの間の最小距離は、次のとおりである。

送信機の最大定格出力 (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150 kHz~80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz~800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz~2.7 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストされていない最大定格出力の送信機に関しては、送信機の周波数に対応する式を使用して推奨分離距離d (単位はメートル (m)) を決定できる。ここで、Pは送信機製造業者による送信機の最大定格出力 (単位はワット (W)) である。

注記1 80 MHzおよび800 MHzにおいて、分離距離は高い周波数範囲を適用する。

注記2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼される時

- 保証期間中の場合
保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎている場合
修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
（製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。
当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。
回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

保証期間	お買い上げの日より 5年間 ※
製品名	RadiForce® RX250

※ ただし、輝度の保証期間は取扱説明書に記載の推奨輝度以下でのご使用の場合に限定され、お買い上げの日より5年間かつ製品使用時間が20,000時間以内（輝度400cd/m²かつ色温度7500K時）です。

記入欄

フリガナ	製造番号 (S/N)
お名前 様	製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。 例) S/N 12345678
TEL ()	お買い上げ年月日 年 月 日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

- 本製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合および推奨輝度に満たない場合、無料で故障箇所の修理または交換をさせていただきますので、保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターまでお申しつけください。
- 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷
 - 車両・船舶などのような強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - 電池の液漏れによる故障及び損傷
 - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（色の変化、色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
 - センサーの経年劣化
 - 取扱説明書に記載の推奨輝度を超えて使用されている場合
 - 外装品（液晶パネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
 - 付属品（リモコン、ケーブル、取扱説明書など）の交換
 - 当社指定の消耗品（電池、スイッチ/ボタン/レバー類、回転部など）
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 - * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。なお、保証期間経過後の修理についてご不明な場合はお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターまでお問い合わせください。
 - * 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOメンテナンスセンターにご相談ください。
 - * 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
 - * 修理状況や補修用性能部品の在庫切れ等により修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただきます。



EIZO株式会社

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2016-2018 EIZO Corporation. All rights reserved.

00N0L952D2
UM-RX250-JA



4th Edition-March, 2018 Printed in Japan.